

第4章 第9期計画の基本理念

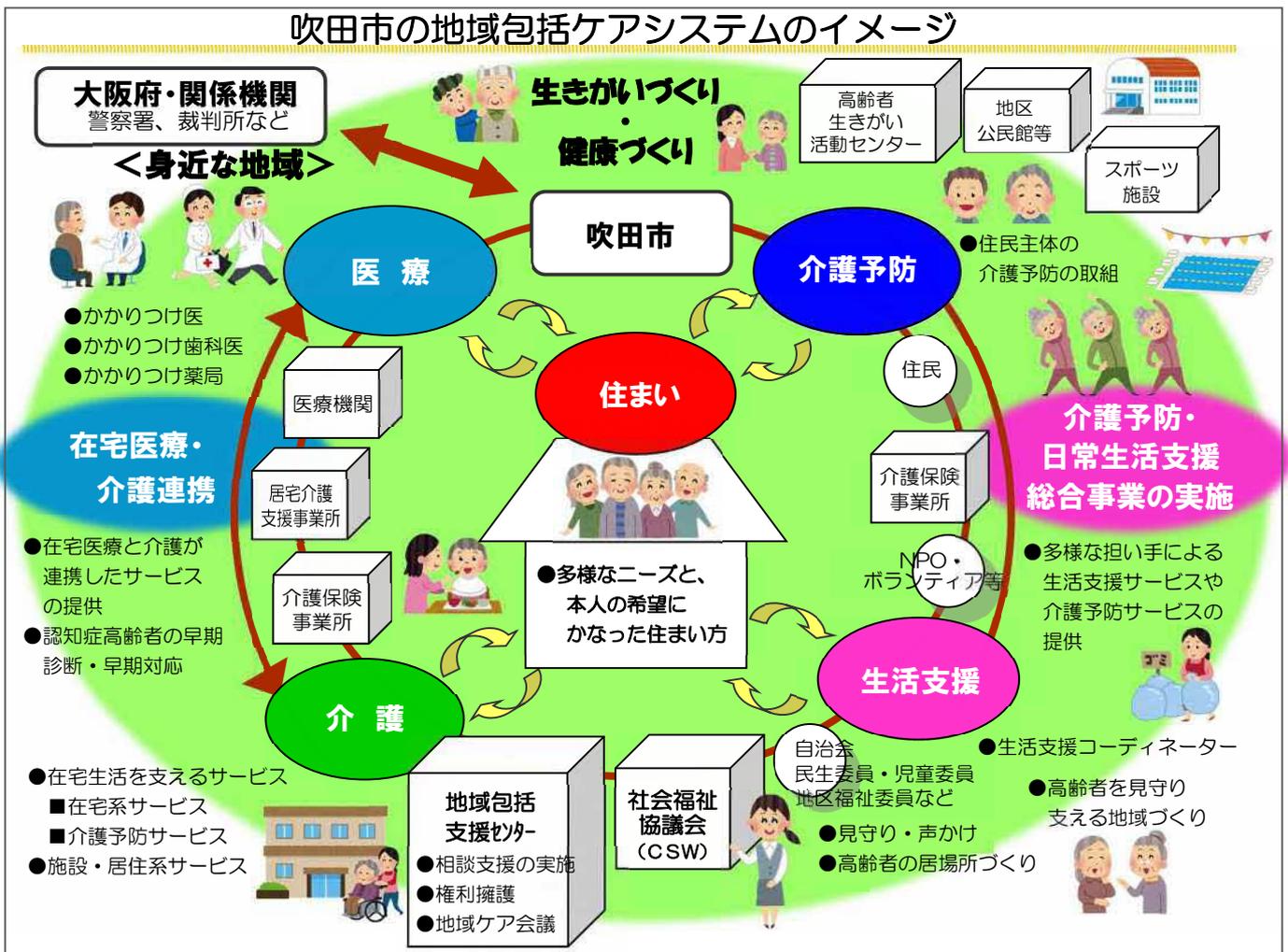
1 吹田市における地域包括ケアシステムのイメージ

本市の高齢者人口がピークとなる 2050 年へと向かう中、現役世代が減少する一方で、介護ニーズが高い 85 歳以上人口が増加し、認知症や高齢者単身世帯も増加すると見込んでいます。

このように、限られた人材と財源という状況のもと、介護保険サービス需要の増加と多様化が想定されることから、制度・分野の枠や、従来の「支える側」「支えられる側」という関係性を超えて、人と人や社会がつながる地域づくりが必要です。

その地域づくりに欠かせない仕組みが「地域包括ケアシステム」です。「地域包括ケアシステム」とは、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことを可能としていくため、限りある社会資源を効率的かつ効果的に活用しながら、十分な介護保険サービスの確保のみに留まらず、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制のことをいいます。

本市の地域包括ケアシステムのあるべき姿は、システムを構成する「医療」「介護」「介護予防」「住まい」「日常生活の支援」のほか、「生きがいづくり・健康づくり」が高齢者の暮らしの中に広く自然にとけこんでいるという考え等を反映しています。



2 将来像

身近な地域で共にいきいきと安心・安全に暮らせるまち ～ずっと吹田で、ずっと元気に～

第9期計画（2024 - 2026）では、第8期計画（2021 - 2023）に引き続き「吹田市民のくらしと健康を支える福祉基本条例」の下で、すべての高齢者の人権を尊重する視点を持ちながら、介護保険法の理念「自立支援、能力の維持向上」や「吹田市健康寿命延伸にかかる庁内基本方針」に沿って各施策を進めることとします。

本計画（第9期計画）において、主要な課題等も踏まえた上で、本市の将来像は第8期計画（2021-2023）から引継ぎ、「身近な地域で共にいきいきと安心・安全に暮らせるまち～ずっと吹田で、ずっと元気に～」とします。

この将来像は、めざすべき地域包括ケアシステムの構築と、その先に見据えた地域共生社会の実現をめざすとともに、愛着を持って吹田のまちで暮らしていただきたいとの思いを込めています。

コラム 5 地域共生社会と地域包括ケアシステム

地域共生社会とは

制度・分野ごとの縦割りや「支え手」「受け手」の関係を超えて、住民が地域で暮らすうえでの課題を「我が事」と考え、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、ひとりひとりの暮らし、生きがい、地域を共に創っていく社会のことです。



地域共生社会が必要となった背景

高齢化、社会的孤立などの影響で、8050問題やダブルケア等個人や世帯が抱える課題が複雑化・複合化しています。今後、人口の減少に伴い、社会経済の担い手の減少や地域の活力、支え合いの基盤が弱まっていく心配があります。

地域共生社会と地域包括ケアシステムの関係

地域包括ケアシステムは高齢者に必要な支援を地域全体で行う仕組みですが、地域共生社会の実現に向けて、この仕組みを高齢者だけでなく、生活上の困難を抱える全ての世代の人に広げる包括的な支援体制を展開していく必要があると言われてしています。

重層的支援体制整備事業の創設

生活上の困難を抱える高齢者・子ども・障がい者・生活困窮者など全ての人の支援体制を展開するため、市が進めているのが重層的支援体制整備事業です。詳しくはコラム8（P97）をご覧ください。

3 第9期計画のめざすところ

(将来像達成に向けたロジックモデル)

本計画では、計画の体系を考えるにあたり、ロジックモデルを作成しました。

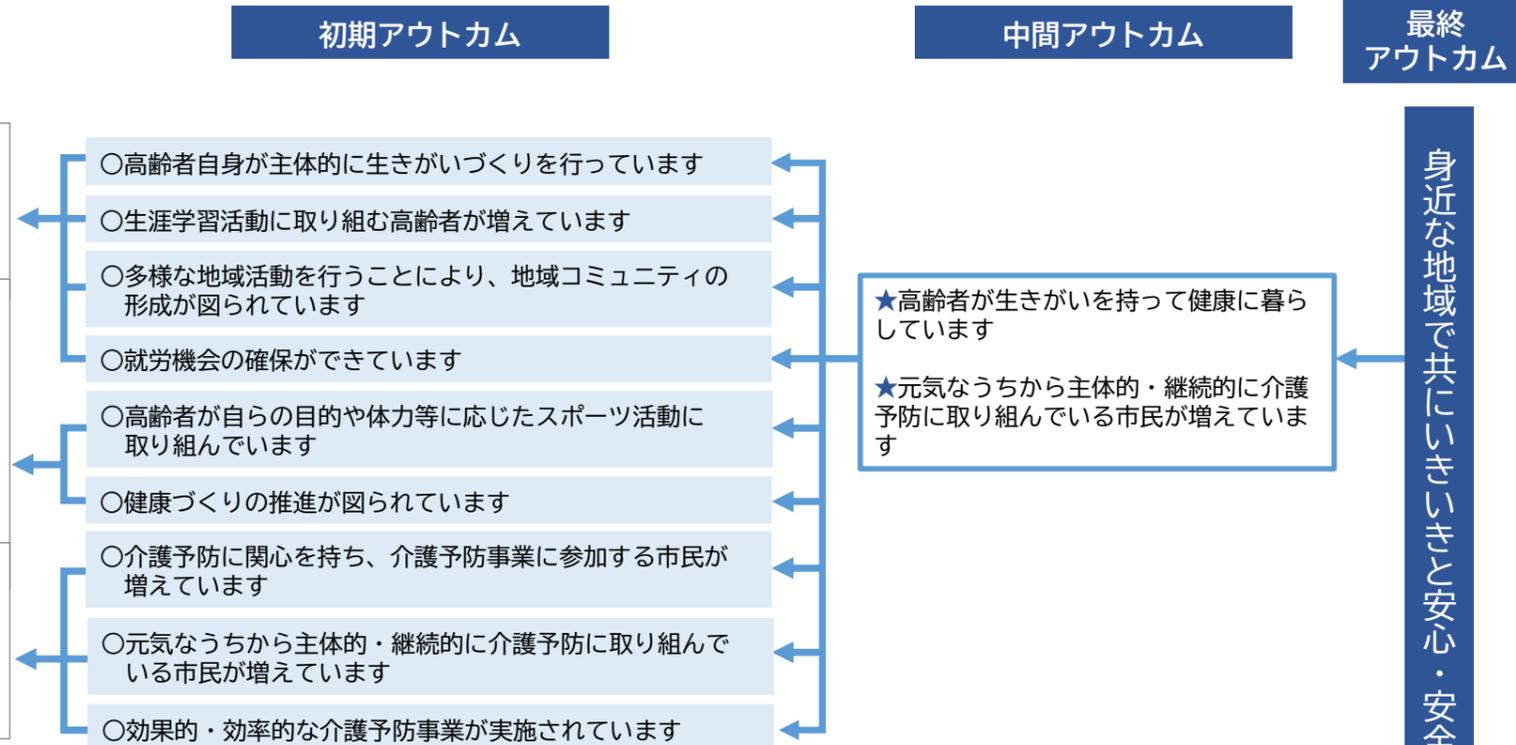
ロジックモデルとは、事業の立案や評価を行う際に用いられる枠組み・考え方の1つで、「こうしたら（活動の結果＝アウトプット）」「こうなった（結果から得た成果＝アウトカム）」という因果関係について、最終的な成果までを段階的に示した論理構成図です。

本計画のロジックモデルは、2050年における将来像である「身近な地域で共にいきいきと安心・安全に暮らせるまち～ずっと吹田で、ずっと元気に～」を最終的な成果である「最終アウトカム」として設定し、これを大きく5つの要素に分解した理想像を「中間アウトカム」、さらに細かく分解した理想像を「初期アウトカム」として示しています。

本市がめざす具体的な理想の姿である「初期アウトカム」を達成するための施策を「基本目標」「施策の方向」として設定しています。

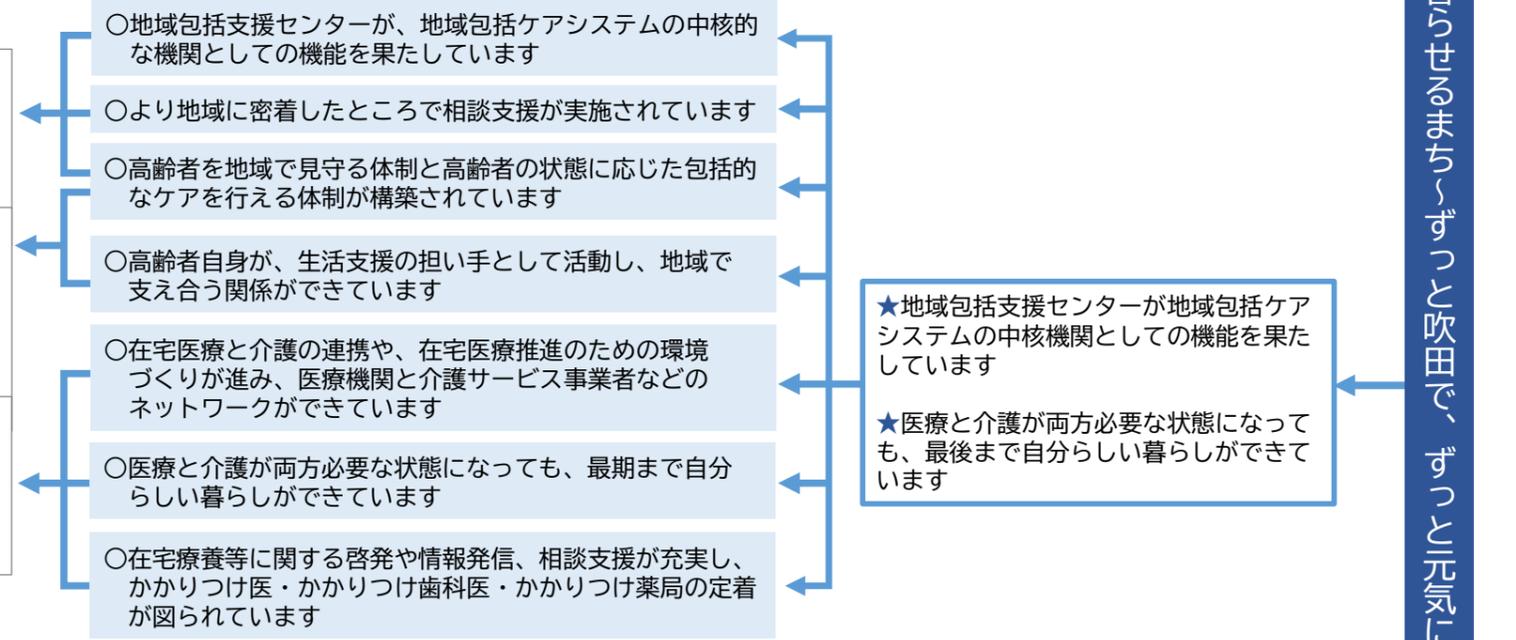
基本目標1 生きがいと健康づくり・介護予防の推進

- 1 生きがいづくりの推進
 - (1) 集いの場の充実
 - (2) 学習・社会参加の推進
 - (3) 地域活動参加への支援
- 2 生涯を通じた健康づくりの推進
 - (1) 生涯スポーツの推進
 - (2) 健康づくりの推進
 - (3) 生活習慣病対策の推進
 - (4) 歯科口腔保健の推進
 - (5) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
 - (6) その他疾病対策等
- 3 介護予防事業の充実
 - (1) 介護予防の普及啓発の推進
 - (2) 住民主体の介護予防活動支援の充実
 - (3) 介護予防事業の充実



基本目標2 地域における支援体制の充実

- 1 地域包括支援センターの適切な運営と機能強化
 - (1) 地域包括支援センターの適切な運営と機能強化
 - (2) 相談窓口の周知・充実
- 2 地域での支え合い機能の強化
 - (1) 相談支援の連携体制の構築
 - (2) 地域における支え合い活動への支援
 - (3) 生活支援体制の整備に向けた仕組みづくりの推進
- 3 在宅医療と介護の連携の推進
 - (1) 在宅療養を支えていくための連携体制の推進
 - (2) 在宅療養等についての市民啓発の推進



基本目標3 認知症施策の推進

- 1 認知症についての啓発
 - (1) 身近な場所での認知症の情報の周知
 - (2) 認知症サポーターの養成
- 2 認知症の人とその家族への支援
 - (1) 早期発見・早期対応に向けた支援の充実
 - (2) 認知症の人とその家族への支援の充実
 - (3) 身近な地域での相談や集える場所の確保
- 3 効果的な支援体制の構築とケア向上の取組の推進
 - (1) 地域における見守り体制構築に向けた支援
 - (2) チームオレンジ等への活動支援
 - (3) 認知症初期集中支援チームによる取組の推進
 - (4) 認知症地域支援推進員による取組の推進
 - (5) 支援体制の質の向上

初期アウトカム

- 身近なところで支援の情報を得ることができています
- 認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが周知できています
- 認知症の人を地域全体で見守り支えています
- 認知症の早期発見・早期対応ができ、必要な医療や介護保険サービスにつながっています
- 認知症に対する正しい理解が深まり、見守り・声かけや居場所づくりなどの活動に取り組んでいます
- 身近な地域で相談し、集える場所が確保されています
- 連携支援や、相談機能などが充実し、住み慣れた地域での暮らしを支えることができています

中間アウトカム

★認知症に対する正しい理解が深まり、住み慣れた地域での暮らしを支えることができています

最終アウトカム

身近な地域で共いきいきと安心・安全に暮らせるまちづくりと吹田の「よき元気」

基本目標4 生活支援・介護保険サービスの充実

- 1 自立支援型ケアマネジメントの浸透・定着
 - (1) 自立支援型ケアマネジメントの啓発
 - (2) 自立支援型ケアマネジメントの事業者への浸透・定着
- 2 高齢者安心・自信サポート事業の充実
 - (1) 多様な主体による生活支援の充実に向けた支援
 - (2) 通いの場の充実に向けた支援
- 3 在宅高齢者と家族介護者への支援
 - (1) 自立した在宅生活への支援
 - (2) 家族介護者への支援の充実
 - (3) 介護離職防止に向けた取組の推進
- 4 介護保険サービス利用者の支援の充実
 - (1) 介護保険制度の情報提供の充実
 - (2) 低所得者支援の充実
- 5 介護保険制度の持続可能な運営に向けた取組の推進
 - (1) 介護人材確保策の推進
 - (2) 介護保険サービスの質の向上と介護給付適正化
 - (3) 地域密着型サービス等の整備

- 自立支援型ケアマネジメントの考え方が浸透・定着しています
- 在宅での安心した生活の確保が図られています
- 安心して暮らせる在宅福祉サービス等を提供し、地域での自立した暮らしを支えています
- 家族介護者の負担や不安が軽減しています
- 介護保険制度に関する情報提供や低所得者支援が充実し、安心して必要な介護保険サービスを利用できています
- 介護保険サービスの継続的な質の向上と介護保険制度の持続可能な運営が図られています
- 介護が必要な状態になっても、必要なサービスを受けながら住み慣れた地域で暮らすことができています

★介護が必要な状態になっても、必要なサービスを受けながら住み慣れた地域で暮らすことができています

基本目標5 安心・安全な暮らしの充実

- 1 高齢者の住まいの安定確保に向けた支援
 - (1) 住み慣れた家で暮らし続けるための支援の提供
 - (2) 高齢者向け住まいの支援
 - (3) 高齢者向け住まいの供給と質の確保・向上
- 2 安心・安全な生活環境の推進
 - (1) バリアフリー化の推進 (2) 交通安全の推進
- 3 防災・防犯の取組の充実
 - (1) 地域における防災力向上の推進 (2) 減災に向けた取組の推進
 - (3) 地域における防犯力向上の推進
 - (4) 消費者被害や特殊詐欺被害の防止に向けた取組の充実
 - (5) 高齢者福祉施設等における防災・防犯・感染症対策への支援
- 4 権利擁護体制の充実
 - (1) 高齢者虐待防止に向けた取組の推進 (2) 成年後見制度の利用促進

- 本人の希望や状況に応じた暮らしができています
- バリアフリーのまちづくりが進んでいます
- 防災・防犯の取組が充実し、安心して暮らすことができています
- 高齢者の権利が守られ、尊厳ある暮らしを送ることができています

★本人の希望や状況に応じた暮らしができ、安心して暮らすことができています

4 計画の体系

将来像の達成に向け、本計画では5つの基本目標と18の施策の方向を設定します。

将来像	基本目標	施策の方向
身近な地域で共にいきいきと安心して暮らしを営むまち 〜ずっと吹田で、ずっと元気に〜	基本目標1 生きがいと健康づくり・ 介護予防の推進	1 生きがいづくりの推進 2 生涯を通じた健康づくりの推進 3 介護予防事業の充実
	基本目標2 地域における支援体制 の充実	1 地域包括支援センターの適切な運営と機能強化 2 地域での支え合い機能の強化 3 在宅医療と介護の連携の推進
	基本目標3 認知症施策の推進	1 認知症についての啓発 2 認知症の人とその家族への支援 3 効果的な支援体制の構築とケア向上の取組の推進
	基本目標4 生活支援・ 介護保険サービスの充実	1 自立支援型ケアマネジメントの浸透・定着 2 高齢者安心・自信サポート事業の充実 3 在宅高齢者と家族介護者への支援 4 介護保険サービス利用者の支援の充実 5 介護保険制度の持続可能な運営に向けた取組の推進
	基本目標5 安心・安全な暮らし の充実	1 高齢者の住まいの安定確保に向けた支援 2 安心・安全な生活環境の推進 3 防災・防犯の取組の充実 4 権利擁護体制の充実